



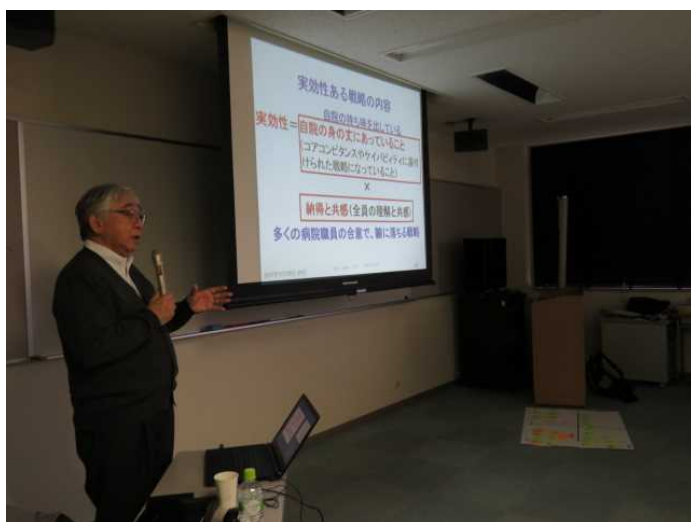
県立病院ニュース

病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第145号 平成30年2月 病院局発行

BSC(バランス・スコアカード)推進者研修を実施しました ～地域に信頼され愛される病院を目指して～

11月20日(月)、21日(火)の2日間にわたり、日本大学商学部の教授であり、日本医療バランス・スコアカード研究学会会長の高橋淑郎氏を講師にお招きして、自治研修所でBSC推進者研修を開催しました。



高橋先生の講義

本研修は、BSCの意義と特徴、戦略策定ステップの理解を深め、現場での活用を促進するために、各病院のチームリーダー、プロジェクトリーダーとして推進力となってもらえる職員のスキル向上を図ることを目的に、毎年実施しております。

病院経営に役立つ、実行可能なBSC作成とファシリテーションのポイントについて、研修で学んだことを、各病院でのBSCの作成と実践に活かし、多面的な視点から病院の体質強化や信頼度向上を実現するために取り組んでいただきたいと思います。

受講者アンケートの一部をご紹介します

- ・時間をかけてSWOT分析を行い基本にのっとりBSCを作成する演習ができたので有意義だった。
- ・今まで理解できていなかった部分が理解できた。
- ・じっくり時間をかけて全員に関わってもらおうと思います。問題意識が共有できる事も大きいと思いました。
- ・同じ職場の職員でグループワークを行ったので、話が弾み目標が一緒に話せ、一体感が持てた。
- ・病院のビジョンが分かるようになった。日々の業務に繋がっている実感が持てた。



グループワークの風景

BSC（バランスト・スコアカード） 成果発表会を3月5日に開催します

BSCの実効性を高め、PDCAサイクルを実践しながら信頼される病院づくりを促進するため、平成27年度からBSC成果発表会を開催しています。

今年度の各病院（部門）のBSCの取組について、①問題の着眼点、②取組方法、③改善結果、④今後の展開、⑤特記事項を評価して、優秀な取組とその成果を表彰します。

成果発表会の内容

1 対象BSC

○部門長シート（1病院・1部門のエントリー）

※前年度の成果発表にエントリーした部門は推薦対象外

2 審査方法

【1次審査】書類審査

- 各病院から提出された12月末時点の実績と達成見込が記入されたBSCとエントリーシートを評価し、成果発表をする病院（5病院）を選定

【2次審査】成果発表会

- プレゼンテーションにより、5病院の最終順位を決定し、表彰状を授与
- 開催日時：平成30年3月5日（月）13:30～17:00

発表会の流れ

1	①病院から、問題の着眼点・BSCシート(戦略マップ・スコアカード)、取組及び成果を発表 ②審査員からの質疑 ※1病院あたり20分程度（発表15分程度、質疑応答5分程度）
2	評価表による審査を集計
3	審査員からの講評

3 審査員

- 外部委員：日本大学商学部 高橋淑郎教授
- 病院局：局長、次長、業務課長、業務指導監

2月中旬に発表会の聴講者募集を行います。他の病院の取組内容を共有する機会となりますので、多くの皆さまの参加をお願いします。

小児がんの子供たちへ心のコモったクリスマスプレゼント

がんセンター新潟病院

♡ 敬和学園大学の学生サークルによる「サンタ・プロジェクト」

平成 29 年 12 月 15 日（金）に敬和学園大学の学生が、がんセンターの小児科病棟を訪問し、子供たちの好きな本をプレゼントしました。このサンタ・プロジェクトの企画は平成 21 年に新発田市で始まったもので、今年で 9 年目を迎えます。善意の市民の皆さまが、協力して下さる書店で子供たちに送りたい本を選んで購入します。添えられたメッセージカードに一言メッセージを書き、書店経由でプロジェクトへ渡されるものです。県立新発田病院や新潟大学医歯学総合病院等、県内だけでも多くの病院の入院中の子どもたちへ送られました。



敬和学園学生と小川小児科部長

♡ アフラックによるプレゼントの贈呈式



アフラック支社長と小川小児科部長

平成 29 年 12 月 22 日（金）にアフラック新潟支社よりクリスマスプレゼントの贈呈式が行われました。アフラックでは「がん征圧月間」の 9 月から 10 月にかけて、社員の運動習慣の増加と社会貢献を目的にウォーキングキャンペーンを全社員向けに実施し、参加者が 1 日当り一定歩数を越えて歩いた歩数に応じた金額（5 円/100 歩）を原資に、全国の小児がんなど難病の子供たちが治療している病院へおもちゃや絵本を寄贈する活動を行っています。プレゼントは、小川淳小児科部長が子供たちに代わって受け取りました。早速、入院中の子どもたちは、頂いたキッチンセットのおもちゃで、夢を持って遊んでいます。

この他にも数件の団体からプレゼントを頂きました。多くの善意ある方々のご支援が病院でクリスマスを過ごす子供たちの笑顔につながりました。

プレゼントを頂いた子供たち一人ひとりから各団体へ、感謝をこめて「ありがとうメッセージ」を送りました。



ありがとうメッセージの 1 枚

訪問看護体験に行ってきました！

在宅療養を支える訪問看護チームの取り組み

津川病院

当院は、人口 11,000 人(平成 29 年 3 月)、高齢化率は県内第 1 位 42.3%である阿賀町唯一の病院であり、訪問看護は 3 名で活動しています。平成 28 年度訪問看護件数は 970 件(月平均 80.8 件)、延べ人数 1,444 件(月平均 120.3 件)であり、阿賀町の診療所や訪問看護ステーションと共に高齢者が住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう地域包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進しています。

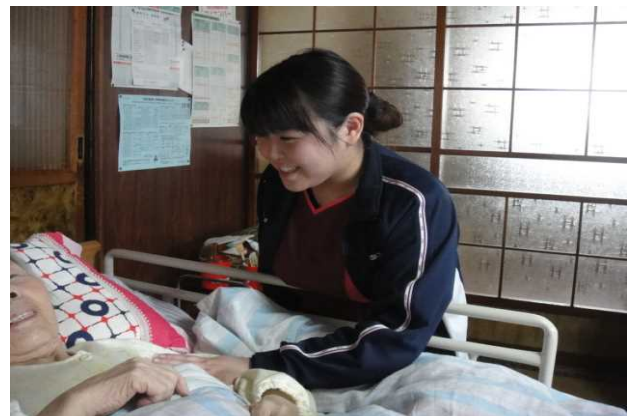
当院に転入した看護師たちが訪問看護を体験することで、訪問看護師の役割や在宅看護の実際を知り、病棟で高齢者の看護に活かすことができるよう、転入後約半年を経過した頃に訪問看護体験を実施しています。

訪問看護の当日は訪問看護チームスタッフとのミーティングから始まります。その後訪問看護師と患者宅を訪問し、患者の様子や介護状況などを観察し、看護ケアを提供します。

体験した看護師たちから、「患者さんの表情がとっても穏やかで心が落ち着いていた」

「入院していた患者さんの表情・反応が病院にいた時とは全く違い生き生きしていた」

「自宅の状況を把握し、個別性のある指導や助言を行うことが大切」「訪問看護師が患者家族に対して、私たちがサポートしますと安心できるような言葉をかけていた」等の感想が聞かれました。



笑顔でふれあう新採用看護師



訪問看護チームは修了書を発行します！

このことから、体験した看護師は、入院中に退院後の在宅生活をイメージした看護を提供する必要があると再確認し、訪問看護が在宅療養される患者家族の支えになっていると感じたようです。

訪問看護は、看護師自身が今まで得た経験を活かし、地域に暮らす住民の方々に貢献できる場でもあります。私たちは、転入者の訪問看護体験から得られた気づきや学びを支援し、地域看護実践力がさらに向上できるように貢献したいと思います。

「信頼される病院づくり」にかかる取組をお知らせください！

皆様からの「こんなことやっているよ」という情報提供や投稿を心からお待ちしております！

病院局業務課改革室

E-mail: ngt400020@pref.niigata.lg.jp